



とらひめ認定こども園あいさつ運動

市民ぐるみの子育て・子育てのための教育環境づくり

予算額 305,399千円

ひとの力

学校体育館など天井落下防止対策や小中学校のトイレ改修などハード面の整備を進めるとともに、「長浜子どものちかい」および「長浜子育て憲章」に基づき、これを具現化するよう取組みを進めます。また、「長浜の未来の学校づくり検討会議」において、将来の長浜市の学校、教育のあり方について議論を重ね反映していくほか、地方教育行政制度の改革の動きを受けて「長浜市総合教育会議」を本格的に運用し、未来に向けてはばたく子どもたちの健やかな発達を支援します。



長浜サイエンスパーク

地域経済の活性化と持続可能な農林水産業を後押し

予算額 253,882千円
(うちH26補正 202,650千円)

企業の力

地域資源を活用した産業の創出や意欲ある起業者を支援し、新たな雇用の創出と地域産業の活性化を図るとともに、プレミアムお買い物券等の発行により地域の消費喚起に取り組みます。また、中山間地域などの条件不利地域での農業経営支援や自伐林家の養成、ピワマスやイチゴ等農水産物の特産品化、鳥獣害対策等により農林水産業の活性化を図ります。



市内に整備されたメガソーラー

再エネ・省エネを最大限推進

予算額 123,891千円

ひとの力

企業の力

市民や事業者に対し、太陽光や木質バイオマス等の再生可能エネルギーによる発電・熱利用設備やLED防犯灯などの省エネルギー設備の導入を支援します。また、市も率先して公共施設への太陽光発電設備を導入し、市民・事業者との協働により再エネや省エネ関連事業を積極的に進めます。



日本の夕陽百選に選ばれている長浜の夕陽

戦略的なシティプロモーションと移住・定住の促進

予算額 26,138千円
(うちH26補正 26,000千円)

まちの力

プロモーションビデオによる場面に応じた幅広い情報発信、雑誌社と連携した首都圏へのプロモーション活動等、本市の魅力を国内外に戦略的に発信していきます。併せて、移住相談に対応できる相談員の育成、移住セミナーの開催や空き家情報の提供等、定住に向けた受け入れ支援を行います。



小谷山と北陸自動車道

小谷城スマート I C を核としたまちづくり

予算額 56,391千円

まちの力

平成29年3月の供用開始に向け、I CランプやETC料金所、取付道路を順次整備していきます。また、並行してスマートI C周辺予定地におけるまちづくりの具現化に向け、進出可能性のある企業とのマッチングに取り組むとともに、土地利用に係る規制緩和に向けた関係省庁への政策提案等を行っていきます。



高齢者の寄合いの場づくり

市民のくらしを守り、安心して生活できる地域社会

予算額 313,394千円
(うちH26補正 150,000千円)

ひとの力

しょうがいのある人や高齢者が安心して地域で暮らせるよう、手話奉仕員の養成やしょうがい者相談支援の機能強化を図るとともに、多様な地域福祉ニーズや課題の解決を目指す介護事業所や地域の活動を支援します。また、地域に必要な医療を確保するため、長浜赤十字病院の救命救急センター運営支援、長浜市立湖北病院の医療提供体制の充実を図ります。



到来する「超高齢・人口減少社会」という大きな転換期を乗り切るため、知恵を絞り、汗をかき、地域の魅力を磨きながら、そのよさを最大限活かしたまちづくりを行う必要があります。このため、長浜の伝統文化を活かしたまちづくり、都市ブランドの構築や移住定住促進など、外から人を呼び込む施策を中心に、「地方創生」を先取りした取組みを進めてまいります。

また、「中心市街地の活性化と北部振興」、「子育てしやすいまちづくり」など、私自ら先頭に立ち、職員一丸となって取り組みます。失敗を恐れず果敢にチャレンジ。本市の誇る市民力を結集し、市民の皆様との協働により元気で力強い12万都市「長浜」を築いてまいります。

長浜市長 藤井勇治



市防災訓練の様子

自助・共助・公助の協働による防災力の強化

予算額 722,147千円

まちの力

市内全域で災害情報の収集および指示が行えるよう移動系防災行政無線の整備を進めます。また、自治会の防災マップとなる災害図上訓練の実施支援や、指定避難所に備蓄倉庫や必要資機材を配備するなど、市民の安全・安心を確保するとともに、災害時のリスク軽減を図ります。